

積 寒 協 ニ ュ ー ス

全国積雪寒冷地帯振興協議会長（泉田新潟県知事）が民主党、自由民主党、政府（国土交通省、内閣府）に対して雪寒地帯対策の要望活動を行いました。

8 月 25 日に全国積雪寒冷地帯振興協議会長の泉田新潟県知事、副会長の石田飯山市長及び理事の島田栄村長が、民主党、自由民主党、政府（国土交通省、内閣府）に対して雪寒地帯対策の要望活動を行いました。

各政党、政府から対応していただいた方は、次のとおりです。

民主党	副幹事長	田名部 匡代
自由民主党	政務調査会国土交通部会長代理	佐藤 信秋
国土交通省	副大臣	三日月 大造
内閣府	副大臣	大塚 耕平



（民主党の田名部副幹事長へ要望書を渡す泉田会長）

民主党の田名部副幹事長に対しては、会長から、「除雪費が不足して困っており、必要な予算をしっかりと確保してもらいたい。」などの要望を行いました。また、石

田副会長や島田理事からは、雪寒地帯の厳しい現状について説明しました。

これに対して、田名部副幹事長からは、「雪国選出であり除雪の問題は共感できる。除雪が行われなければ多くの影響ができる。幹事長にもしっかり報告したい。」とのコメントをいただきました。



（国交省三日月副大臣への要望。左から三日月副大臣、泉田会長、石田副会長、島田理事）

国土交通省の三日月副大臣に対しては、会長から、「地域の生活を確保するため除雪は必要。一括交付金化の議論もあるが、食料の維持、国土保全の観点から除雪に係る費用を確保してもらいたい。」などの要望を行いました。

これに対して、三日月副大臣からは、「しかと承った。」とのコメントをいただきました。



(国交省の三日月副大臣へ要望する泉田会長)

は多目的機能を有しており、エコ対策の面でも貢献している。また高齢化が進んでおり、豪雪地帯に配慮してもらわないと、そこで住めなくなる。除雪費等に配慮してもらいたい。」などの要望を行いました。

これに対して、佐藤国土交通部長代理からは、「除雪の大変さは十分承知している。しっかり対応したい。」とのコメントをいただきました。

また、内閣府の大塚副大臣に対しては、会長から、「豪雪地帯は食料生産基地でもあり、都市部にも大きく貢献している。除雪体制が整うような仕組みづくりをお願いしたい。」などの要望を行いました。

なお、事務局において、関係省庁及び豪雪地帯から選出されている民主党、自由民主党等の国会議員に対して、要望書を配布しました。

これに対して、大塚副大臣からは、「除雪が大変だということは認識している。お話は十分承った。」とのコメントをいただきました。



(自民党の佐藤国土交通部長代理へ要望書を渡す石田副会長)

この他、自民党の佐藤国土交通部長代理に対しては、副会長から、「豪雪地帯